

九月十三日

十時半大学面接。十一時半ナカミツ建材、中島氏来室。打合わせ。十三時入江主任、西谷先生相談。十五時十勝打ち合わせ。十七時北九州、忍田さん来室。打ち合わせ。十九時半迄。二〇時過新大久保駅近くのタイ料理屋で会食。二十二時前了。

京王線四人掛中一人もケイタイ、ピコピコ無し。ただし、目の前に立つ男二人がピコピコ人であった。ピコピコ人の特色は、どう考えても電車の中にまでピコピコ持ち込む程忙しい、せっぱつまった如くの間人らしからぬが、ピコピコやっているんだナア。

九月十四日

十一時過、護国寺桂昌殿。GKデザイン機構代表西澤健氏告別式。榮久庵憲司さん弔辞、流石に痛切であった。突然の死であったようだ。西澤さんとは度々GK関係の会でお目にかかった。弔辞にもあったように少し、土の匂いがする朴とつな人柄の方であった。榮久庵さん率いるGK王国の大番頭であったように聞くが、榮久庵さんにとっては痛いだろう。明後日から海外出張だと秘書の小野寺さんから聞いたが、何もなければ良いが。十三時告別式、焼香を終えて、すぐ帰宅する。今日は日曜日だ。

九月十五日

今日は連休らしい。十一時前世田谷村発。研究室へ。秋になっ

て快晴が続いている。十四時研究室発。谷中の古書ほうろつへ。アオキさんと今春のプノンペン以来の再会なるか。外は暑い。J R山手線の片側六つの扉、三人掛シートの車両は良く良く見れば囚人護送者であるな。いかに大量の人間を効率良く収容し排出する事だけが考えられている。西日暮里下車。千駄木、谷中はアツという間に変わった。大通り沿いは中層マンションが乱雑に建つ。典型的なバブル後の東京の風景だ。侘しい。古書ほうろつ前のつめん屋でしよう油ピリカラつけメン食べる。侘しい。古書ほうろつ訪問。プノンペンですでに顔なじみの夫妻がカウンターに居た。照れ臭くあいさつしてすぐ本屋を巡る。きちんと考えられて、整理され、彼等の意欲もそれなりに表現されている。えらそうに言う立場には無いが、良い古本屋であった。R・カイヨワ、エリアーデ、チョムスキー等四冊買い求める。値段も合理的で、我家の近くの古本屋見たいに暴利をむさぼっていない。むしろ安い。私はいささか古本屋の嗅覚は働くので、断言できる。ここはおすすめできる。店内に休息コーナー、試読コーナーも設けられ工夫している。是非一度皆さん行ってみて下さい。今夜はメ切原稿抱えているのでゆっくり出来なかつたが、一度夫妻とメシでも喰いたいものだ。

阪神タイガースの優勝が決まりそうで、自民党総裁選の報道はそつちのけで、TVはタイガース一色。これじゃ北朝鮮の報道、その他を笑えないと思う。しかし、ジャイアンツ優勝よりは余程イイ。二十一時前室内原稿書き始める。高橋悠治の事から書き始めて、結末は解らない。未定のママに書く。何とか書き終えたのが翌一時半前。こういう時は眠れぬのを知っているので少々読書で頭を休める。